



(校訓碑)

めざす子ども像

- のびのびと 元気よく
- なかよく だれとでも
- みらいに向かって 進んで努力する

のなみっ子

1 のびのびと元気よく学校生活を送るための取り組み

- ☆ 「笑顔で登校、笑顔で下校」を意識した学級・学年・学校経営
- ☆ 感染症拡大防止対策の充実
- ☆ 火災・地震・各種警報発令時への対応・訓練の充実
- ☆ 犯罪から身を守る方法を学ぶ指導の充実
- ☆ 交通安全意識を高める取り組み
- ☆ 安心できる学校給食の食物アレルギーの対応 交通指導員による交通安全指導



2 なかよく誰とでも学校生活を送るための取り組み

- ☆ 挨拶など礼儀正しく行動する生活指導の充実
- ☆ 仲間づくりを大切にする指導の充実
- ☆ 思いやり、優しい心を育てる指導の充実
- ☆ 個人懇談会・教育相談週間・スクールカウンセラーや外部機関との連携など教育相談体制の充実
- ☆ 心を育て命を大切にする教育活動の充実 児童会とPTAによる挨拶運動



3 みらいに向かって進んで努力する子を育てる取り組み

- ☆ 規律を尊重し、規範意識を育む指導の充実
- ☆ 個に応じたきめ細やかな学習形態
(T・T指導、個別指導などの少人数指導)
- ☆ 一人一人の考えを交流し、協働的に学ぶ場の設定
- ☆ ICT機器を活用した楽しい授業 ICT機器を活用した学習



つながり 進める 学校づくり

学校評価、学校評議員制度の活用

- ☆ 保護者や地域の声を生かした学校運営

学校からの情報発信の充実

- ☆ 「のなみだより」・学校HPなどの充実
- ☆ 緊急時におけるメールの活用

教育活動の公開

- ☆ 学校行事、学習活動等の保護者、地域への公開

地域ボランティアの活用

- ☆ 子どもたちの教育環境の充実、安全な教育活動への協力

小学校と中学校との連携を視野に入れた活動の継続

- ☆ コスモスの花活動や英語学習等での小中連携



地域の随時ボランティアによる随時教室

学校教育の努力点

「ICTを活用した楽しい授業」

— 学びやくらしに役立つ技をマスターしよう —

昨年度、子どもたちは、タブレット端末を活用し、インターネットを使って調べる活動やアプリケーションを使って友達との意見を交流する活動を行うなど、様々な学習をしてきた。その一方で、情報機器の取り扱い方については、学年問わず、個人差が大きく見られた。名古屋市では、ICTを最大限活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を打ち出している。それらを踏まえ今年度は、ICT機器を活用しながら、個々の情報活用能力の基礎的なスキルの向上に重きを置き、様々な活動に取り組む。そのためには、国語科や算数科等の各教科において、ICT機器を使う機会を設け、タブレット端末を操作する技能やアプリケーションの活用方法を身に付ける必要がある。また、情報の取り扱い方にも目を向け、各学年で「情報モラル教育」に力を入れ、取り組む必要がある。最終的には、子どもがICTを活用し、協働的に資料を作成したり、学級や学年、学校全体に発表したりする活動に取り組めるようにしたい。

